

市日と連動した久慈の冬を彩るイベント

北三陸

合併5周年記念

# くじ冬の市

岩手県久慈市  道の駅  周辺

本部：北日本銀行久慈支店駐車場  
午前10時～午後2時

おいしい! 楽しい!  
全5回



第1回

11/23

(火・祝日)

「サケまつり」

第2回

12/23

(木・祝日)

「短角牛まつり」

第3回

1/23

(日)

「アワビまつり」

第4回

2/13

(日)

「毛ガニまつり」

第5回

3/13

(日)

「久慈グルメ大集合」



大人気の琥珀アクセサリー作り体験や  
木工工作体験、親子交流イベントなど  
盛りだくさん!

北三陸くじ冬の市開催実行委員会

【お問い合わせ】久慈市商工観光課 (TEL 0194-52-2123)



# 北三陸 くじ冬の市

## 会場案内図

岩手銀行様

↑ 八戸方面

イベント本部・総合案内所  
(北銀久慈支店駐車場)  
大きなトランポリンが目印だよ!

北日本銀行様



まちなか体験工房

久慈産琥珀のアクセサリー作りや  
木五互作体験などができるよ!

JR・三陸鉄道久慈駅

← 盛岡方面

歴通路広場

おいしいお店が勢揃い!

沢菊様

国道281号

市日通り

旬の食材もお得に  
GET!

巽山公園

市街地も一望!

アツビバ

ちょっと一休みしたいときに  
ご利用下さい。

道の駅くじ やませ土風館

観光案内はこちらへ。  
大きな秋まつりの山車も常設展示。



## 市日の由来

久慈市の市日は3と8の日の月6日開かれます。昔はこれを六斎市と言いました。市のたつところは中町の病院通りで両側の歩道です。久慈の市日の始まりは、定かではありませんが約340年前の正保3年(1646年)のころと思われます。この年に昔、久慈と通りと言われた今の太田の三日市が3の日に市(町)のたつのを許されて、三日町が成立したと言われています。当時から家屋が密集していて、宿場町の形態をなしていたことは5年後の慶安4年2月の火災で17軒の家屋を焼失していることで推察できます。8の日にたつ市(町)は、旧久慈町の昔からの市日で、前に二日の町(市)であったものが、承応2年(1653年)に八日町、十八日町、二十八日町の町名が残っています。二日町であったのはいつからであるかよくわかりませんが、そのころ市日が許された事情からおして、たぶん三日町と同じころと思われます。

当時、久慈川流域に発達した三日町や八日町と言われた久慈は、九戸地方の発祥の地で経済・文化を始め、交通の要路として栄えたところでした。古老の話では、三日町の市日は明治の頃まで続き、その後廃止されたと言います。戦後昭和25年4月から本町で三日市が開かれるようになりました。

そして、この三日市も日増しに盛んになってきましたが、場所の関係で八日市の開かれている二十八日町にたつようになり、さらに52年10月、この3と8の日の市が中の橋通りから市道である今の所に移ったのです。

市日のことを「町」とも「町の日」とも言われ、今は、お年寄りや近在の一部の人を除いては、一般に「市日」と言っています。

平成元年10月発行地域コミュニティ誌「コーヒーカップ」より一部掲載  
筆者 元久慈湊小学校長 中澤義雄氏

